

みとよ社協だより

しちふく

～七つの福の結晶～

No. **58**

2020年
10月



地域の居場所づくり活動として蟻の首カフェ“かがやき”がオープンしました。
(地域活動応援事業の助成金を活用～赤い羽根共同募金助成事業～)



こども寺小屋(三野町)4ページ掲載

♪ 蟻の首カフェ“かがやき”オープン ♪ (詫間町)

主な内容

- 新会長就任あいさつ 2 P
- 赤い羽根共同募金 3 P
- 各種相談日程 6 P～7 P
- 【作品募集】ファミリー写真／ふくし川柳 8 P
- こどもの居場所づくり活動助成金 1 2 P



この広報紙は共同募金助成金により発行しています。

新会長就任あいさつ

本年6月開催の理事会において三豊市社会福祉協議会会長に就任いたしました。平成29年6月より副会長に就任しておりましたが、このほど会長に就任するにあたりまして責任の重さをひしひしと感じているところです。

さて、新型コロナウイルスの感染者は、現在も全国的に拡大し、人々の日常生活に大きな影響を与えています。これまでの日常は一変し、「新たな生活様式」が求められ、社会の仕組みそのものが模索しつつも動き始める等、先の見えない状況下にあります。三豊市社協の地域福祉に対する方向性は少しも変わることはありません。

三豊市社協が取り組む「地域共生社会の実現」とは、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、市民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会をめざすものです。

今後、三豊市社協といたしましても、国や県、市内の動向に注視しつつ新情報を入手し、市民生活に直結した事業の見直しと各種事業の充実と振り返り、継続性のある事業の組み直し、広報活動の充実、経営意識を持った介護保険事業の運営をめざし、さらに種々の社会情勢を勘案しながら事業を行ってまいります。

そのためには、役職員一人ひとりが高い意識を持ち、常に“頼りにされる三豊市社協”をめざし、一層努力してまいりますので、市民各位のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げ、就任あいさつとさせていただきます。



社会福祉法人
三豊市社会福祉協議会
会長 小野 英樹

「なんでもお気軽にご相談ください。」三豊市社会福祉協議会 相談窓口一覧

名 称	TEL	FAX	所在地
本所	63-1014	63-3085	市役所山本庁舎内
山本支所	//	//	//
高瀬支所	72-4955	56-2552	高瀬町社会福祉センター内
居宅介護支援事業所	72-0122	//	//
訪問介護事業所	//	//	//
三野支所	72-2800	72-6167	市民センター三野内
豊中支所	62-1012	62-1193	市役所豊中庁舎内
みとよファミリーサポートセンター	62-1192	//	//
詫間支所	83-2460	83-2063	三豊市文化会館内(マリンウェーブ2階)
仁尾支所	82-2042	82-2615	市民センター仁尾内
財田支所	67-0115	56-8890	財田町国保高齢者保健福祉支援センター内
財田町デイサービスセンター	67-0120	//	//

市外局番(0875)





赤い羽根共同募金

毎年、皆さまから温かいご寄付をいただき、ありがとうございます。

今年も赤い羽根共同募金運動が10月1日からはじまりました。お寄せいただきました寄付金は香川県共同募金会を通じて、県内の民間福祉施設や、じぶんの町（三豊市）の地域福祉事業に助成されます。皆さまの温かいご支援、ご協力をよろしくお願いします。

令和2年度

募金目標額: **22,250,000円**

令和3年度事業計画

- ・広域助成事業、災害活動等支援
4,819,000円
- ・地区社協等が行う地域福祉活動
35事業 3,734,000円
- ・福祉団体、ボランティア団体等が行う地域福祉活動
73事業 4,772,000円
- ・三豊市社会福祉協議会が行う地域福祉活動
8事業 8,925,000円

募金目標額合計 22,250,000円



インターネットからも
募金できます!



▲令和2年度
うどんバッジ

三豊市社会福祉協議会 本所・各支所窓口にて、500円以上募金いただいた方にうどん県バッジもしくは、劇場版「鬼滅の刃」無限列車編×赤い羽根共同募金コラボレーションのクリアファイルを
お渡しします。※数量限定



令和元年度事業 ありがとうメッセージ

詫間町「中郷自治会」

今回、赤い羽根共同募金より中郷自治会に対して助成金を頂き、誠にありがとうございました。

早速、防災用品(備品)を購入させていただき、中郷自治会防災責任者や担当者により、機材の設置・接続、管理運用方法を訓練し、修得することが出来ました。南海地震が発生する恐れがある中、今回の助成金のおかげで、万が一の災害に対しての備えを強化することができたとともに、中郷自治会住民の意識向上につながりました。ご寄付いただいた皆様、本当にありがとうございました。



通信

コロナに負けない！大辻いこいの広場

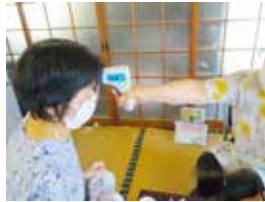
8月12日 山本

令和元年11月に発足した『大辻いこいの広場』は、新しい生活様式を取り入れ毎週水曜日に活動しています。

そのためには、慎重な体調確認と、厳重なソーシャルディスタンス、密を避けるための参加者入れ替え制など、細心の注意をはらいつつ運営されています。

毎回多くの参加者でにぎわう大辻公民館では、男性陣が将棋盤の上で白熱した勝負を繰り広げ、学校帰りの小学生は宿題に取り組み、その傍らでは女性陣がお茶を飲みながら見守っているという、まさに昔の大家族を彷彿とする和やかな光景が見られます。

誰でも気軽に立ち寄れる大辻いこいの広場は、新しい日常の中で形を変えながら、地域のいこいの場でありつづけることを願っています。



お待たせしました！

6月5日 三野

みの元気塾では、三豊市社会福祉協議会の地域活動応援事業の助成を受けて、令和元年7月から地域の高齢者二人暮らし及び一人暮らし世帯へお弁当の配食サービスを行っています。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を休止していましたが、緊急事態宣言解除に伴い、6月から再開することになりました。

配達は、毎週水・金曜日のお昼にボランティアさんが行っており、今回はお弁当と一緒にみの元気塾スタッフの手作りマスク、脳トレプリントも渡しました。

ボランティアさんが訪問すると、「楽しみにしとたんよ〜。」と笑顔で迎えてくれ、久しぶりの会話が花が咲きます。嬉しそうな笑顔を見て、このサービスが地域の方々の孤立・孤独を防ぎ、心身の健康を保つ一助になっていることを改めて実感しました。



令和2年度夏休み子ども寺子屋 楽しく体幹トレーニング編

8月11日 三野

毎年、みの元気塾が主催している大人気の夏休み子ども寺子屋が今年も無事に開催されました。

今回は子どもたちに日頃の運動不足を解消してもらおうと、講師に下高瀬小学校の若手教員3名を招き「楽しく体幹トレーニング」という新しい講座を企画しました。

ウォーミングアップが始まり、簡単なメニューから徐々にハードに：子どもたちは先生



がこの日のために考えてくれた頭と体を動かすプログラムに一生懸命取り組み、学校や学年を越えて大盛り上がり！感染予防対策をしながらも、コロナのストレスを忘れさせてくれるような、とても楽しい時間となりました。

たくま子ども食堂 はびねすカフェ夏まつり

8月15日 詫間

当日は、夏祭りの雰囲気を楽しんでもらえるよう飾りつけやのぼり等の演出を工夫しながら、新型コロナウイルス感染症予防対策として50人限定の事前予約、手指消毒、会場入口での検温を実施しました。

お昼過ぎからは、模擬店で持ち帰ってもらう食べ物や、ママさんボランティアの方が汗だくになりながら調理して持ち帰り用に梱包しました。各模擬店での配布役や駐車場整理には詫間地区民生委員児童委員協議会の有志の皆様などのお手伝いをいただきました。ボランティアの皆様により盛大に開催することができ、ありがとうございました。

コロナ禍での夏休みでしたが、夏の思い出の一つになったらいいなと思います。





（マイズム）社員の中西さん（講師）の協力のもと、「子どもたちはゲームはできるけれど、プログラミングは教わっていない子どもが多い。今年度からプログラミング教育が小学校必修化など、これから

の時代に少しでもついでにというように」と、パソコンを使う簡単なゲーム作りプログラミング体験会を開催しました。

仁尾町内外からの参加者があり、パソコンを使ったことがない人でも講師の先生と一緒に簡単なゲーム作り（プログラミング）にチャレンジし、楽しい体験をする事ができました。

三豊市合併前から活動している青少年育成町民会議は、

今現在、三豊市内では仁尾町だけになりましたが、代表の

西山さんは「子どもたちに学校では教えてもらえない感動と体験をさせてあげたい」とい

る工夫をしながら頑張っています！

七

福

初めてのプログラミング体験会

8月16日 仁尾

青少年育成仁尾町民会議（西山弘茂 代表）は、一般社団法人みとよA社会推進機構 MAMIN

予測できない災害に備えて

7月 財田

財田地区社会福祉協議会では災害時に備えて、7月に災害備蓄品を購入しています。これは、毎年、起こる災害に対して、地域住民が公民館等に避難された際に、少しでも安心できるようにと購入したものです。地区社協では防災への意識が強く、昨年2月には香川県防災センターで研修を受けるなど、自分の身にいつ起きてもおかしくないという気持ちで行動しています。また地域住民の防災意識を高めるために、11月5日の午後より香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構教員等による防災に関する講演の開催を予定しています。



社協ふくし相談をご活用ください

令和2年度より「社協ふくし相談」を開始しています。社協職員が地域に出向いて皆様のお近くで寄り添う相談を心掛けております。お気軽にご相談ください。

相談例

- 介護サービスを受けるにはどうすればよいか等介護に関する相談
 - ・ 最近物忘れが増えてきて不安...
 - ・ お金のやりくりがうまくいかなかった
- 老後の生活相談
- こどもの居場所づくり活動に関する相談
- ボランティア活動の相談
 - ・ 地域で活動をはじめたいけど、どうすればよいか?
 - ・ 生活する中での困りごと
- 話し相手が欲しい・話を聞いてほしい 等々



相談日等は6～7ページをご覧ください

いろんな相談を受け付けております。その場で解決する事は難しいですが、解決方法を一緒に考えましょう。



詫 間

仁 尾

財 田

全支所

2020年 11月

注) 新型コロナの影響で中止になる場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 文化の日	4	5 社協ふくし相談(山本) 神田定住センター 10:00-12:00	6	7
8	9	10 法律相談 (高瀬/豊中) 【予約制】 13:00-15:30	11	12 社協ふくし相談(三野) 三野町生涯学習センター 10:00-12:00	13	14
15	16	17 法律相談 (詫間)【予約制】 13:00-15:30	18 心配ごと相談 13:00-15:00	19 社協ふくし相談(豊中) 豊中町公民館 本山分館 会議室 10:00-12:00	20 12月法律相談 (電話予約) 受付開始12時～ 63-1014	21
22	23 勤労感謝の日	24	25	26	27 社協ふくし相談(詫間) 松崎コミュニティセンター 10:00-12:00	28
29	30					

2020年 12月

注) 新型コロナの影響で中止になる場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
		1 法律相談 (高瀬)【予約制】 13:00-15:30	2 社協ふくし相談(仁尾) 仁尾町文化会館2階 10:00-12:00	3	4	5
6	7	8 法律相談 (仁尾)【予約制】 13:00-15:30	9 社協ふくし相談(財田) 林明公民館 10:00-12:00	10	11	12
13	14	15 法律相談 (財田)【予約制】 13:00-15:30	16 心配ごと相談 13:00-15:00	17	18 社協ふくし相談(高瀬) 高瀬町公民館上高瀬分館 10:00-12:00	19
20	21 1月法律相談 (電話予約) 受付開始12時～ 63-1014	22	23	24 社協ふくし相談(山本) 山本町公民館財田大野分館 10:00-12:00	25	26
27	28	29	30	31		



【各種相談日程】このページを取り出してカレンダーとして活用してください。

開催町	高瀬	山本(本所)	三野	豊中
-----	----	--------	----	----

2020年 10月

注) 新型コロナの影響で中止になる場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6 法律相談 (高瀬)【予約制】 13:00-15:30	7	8	9 社協ふくし相談(詫間) 箱浦ビジターハウス 10:00-12:00	10
11	12	13 法律相談 (山本)【予約制】 13:00-15:30	14 社協ふくし相談(仁尾) 中筋自治会場 10:00-12:00	15	16	17
18	19 社協ふくし相談(財田) 財田町公民館 10:00-12:00	20 法律相談 (三野)【予約制】 13:00-15:30 11月法律相談 (電話予約) 受付開始12時～ 63-1014	21 心配ごと相談 13:00-15:00	22	23	24
25	26	27	28 社協ふくし相談(高瀬) 高瀬町公民館麻分館 10:00-12:00	29	30	31

各種相談概要

● 無料法律相談【予約制】

※本所(63-1014)にて電話予約が必要です。なお、定員になり次第、締め切ります。

地域の皆さまが日常生活で抱える財産・人権・家族等の問題に対して、無料で弁護士による指導及び助言を得ることができる場を設けています。

● 社協ふくし相談

地域の身近な場所へ出向いて社協職員による相談を行います。

● 心配ごと相談(旧くらしの相談)(全7支所/毎月第3水曜日 13:00-15:00)

悩みを抱える地域の皆さまが安心して暮らせるよう、民生委員・児童委員が話を伺います。また、必要に応じて各支援機関や専門員と連携を図ります。

● ボランティア相談

ボランティアに関する相談は本所・各支所で随時応じています。

● 介護相談

介護に関する相談は高瀬支所で随時応じています。



相談場所所在地(無料法律相談・心配ごと相談)

高瀬	高瀬町社会福祉センター内	三豊市高瀬町下勝間2449番地1	TEL 72-4955
山本(本所)	三豊市役所山本庁舎内	三豊市山本町辻333番地1	TEL 63-1014
三野	市民センター三野内	三豊市三野町下高瀬1978番地1	TEL 72-2800
豊中	三豊市役所豊中庁舎内	三豊市豊中町本山甲201番地1	TEL 62-1012
詫間	詫間福祉センター内	三豊市詫間町詫間1338番地13	TEL 83-2460
仁尾	市民センター仁尾内	三豊市仁尾町仁尾辛34番地2	TEL 82-2042
財田	財田町国保高齢者保健福祉支援センター内	三豊市財田町財田上2141番地	TEL 67-0115



ファミリー写真 WEBコンテスト2020



QRコード
(写真コンテスト用)

応募資格

三豊市在住もしくは在学・在勤の方
(1家族1点まで・2人以上写っている写真)

応募方法

応募専用アドレス(family@mitoyoshakyo.or.jp)
又は右上のQRコードを読み込み応募者氏名・年齢・住所・電話番号・
写真タイトル・簡単なコメントを記入し、写真データ(2MB程度)を
添付して送信してください。

※写真データ量が小さいため画像が粗いものは審査の対象になりません。

応募期間 令和2年 10月 1日(木)から
10月30日(金)(必着)

※詳しくは、社協HPまたはチラシをご覧ください。
※新型コロナウイルス感染症予防のためメール受付のみにになります。
窓口では受付いたしません。

テーマ

『なかよしファミリー』

入賞者には
ステキな賞品を
届けるニャ



ー お問合せ ー
みとよファミリー・サポート・センター
TEL.0875-62-1192 FAX.0875-62-1193

ふくし川柳2020 作品募集

【応募資格】

三豊市在住もしくは在学・在勤の方

【応募期間】

令和2年10月1日(木)～10月30日(金)必着

【応募方法】

三豊市社会福祉協議会本所・各支所等設置(社協HPからもダウンロード可)の応募用紙にて郵便、
FAX、持参。応募用紙を用いない場合は、Eメール【senryu@mitoyoshakyo.or.jp】もしくは
下記のQRコードを読み込み、氏名、ペンネーム(希望者)、住所、電話番号、年齢、応募部門、作品、
作品についてのコメント(70文字以内)、児童・生徒は学校名・学年、三豊市以外にお住まいの方は、
勤務先名、勤務先住所を明記の上、送信してください。

氏名やペンネーム(希望者)、作品にはふりがなをつけてください。

※詳しくは、社協HPまたはチラシをご覧ください。

【お問合せ】

三豊市社会福祉協議会 本所・各支所
TEL:0875-63-1014 FAX:0875-63-3085
E-mail: senryu@mitoyoshakyo.or.jp

川柳のテーマ
「福祉」

※ お1人様1句まで



QRコード
(ふくし川柳用)





新型コロナウイルス感染症禍における ふれあい・いきいきサロンや居場所づくり活動等を行う上でのポイント

ふれあい・いきいきサロンや居場所づくり活動等は、身近な場所に集い交流することで社会的な孤独を防ぐためにも大きな役割を担っております。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から皆が集まる機会が制限され、これまでつながっていた地域内の方々を継続的に見守っていくために本会としても世話人等の方々と一緒に新しいつながりの方法を模索しています。

また、ふれあい・いきいきサロンや居場所づくり活動等を開催する場合には「通いの場を開催するための留意点」を参考になさってください。(厚生労働省提供)

詳しくはこちら

厚労省 通いの場

検索

なお、ふれあい・いきいきサロンや居場所づくり活動等を開催する場合に条件があれば助成金も活用できますので、詳しくはご連絡ください。それ以外の事でもお気軽にご相談ください。

【ご連絡・お問合せ】

社会福祉法人三豊市社会福祉協議会

本所(山本支所) 63-1014 / 高瀬支所 72-4955 / 三野支所 72-2800

豊中支所 62-1012 / 詫間支所 83-2460 / 仁尾支所 82-2042 / 財田支所 67-0115

自宅でもできる全国のご当地体操の動画や
リーフレットの情報を掲載しています(厚生労働省提供)

詳しくはこちら

厚労省 高齢者 体操

検索



QRコード
読み取り

【感染予防策のピクトグラム(絵文字)】



このイラストは、感染予防対策のお願いに使えるピクトグラム(絵文字)です。ご家庭や学校、職場などにおいて自由にお使いください。厚生労働省のホームページよりダウンロードできます。





浦野直子さんを紹介します。

浦野さんは、地域のボランティア活動に対し「手伝えることがあれば何でも言ってください!」といつも明るくおっしゃってくださいるボランティアの一人です。

みとよ福祉まつりの高瀬町ボランティア協議会が outlet している竹パンコーナーでは、生地作りチームの皆さんと協力をしながら、手早く段取りをし、その日の状況にあわせて的確に生地づくりをしてくれます。その美味しいパン生地のおかげで、毎年大盛況です。また、社協が行っている学校等での福祉教育にもお手伝いをいただき、高齢者疑似体験の装具の装着をはじめ、体験中の見守りや声掛けを優しく、丁寧にしてくださいます。その他、認知症の方やその家族を温かく見守る認知症サポーターを養成する、認知症キャラバンメイトとして活動しており、養成講座内の寸劇では、名演技も披露してくれています。それを見た子どもたちや先生方からは「上手ですね!」と大好評です。

地域の様々な分野で積極的にボランティア活動に取り組みされている、目配り・気配り上手な浦野さん。これからも益々のご活躍を期待しています。

【今回のボランティア】



浦野 直子さん
(高瀬町)



寸劇(認知症サポーター養成講座)



竹パン生地作り(福祉まつり)

福祉クイズ

まるみちゃん

問題

今回、新たな取り組みとして市民の皆様からコロナ禍での生活を経て、あなたが感じた「福祉」に関する川柳を募集します。はたして、その川柳の名称は一体なんでしょう?



答えの書き方

- ① 答え〇〇〇川柳
- ② 氏名(年齢)
- ③ 住所・郵便番号
- ④ 電話番号
- ⑤ しちふくを読んだ感想

あて先

7	6	8	0	1	0	1
三豊市山本町辻 333番地1						
三豊市社会福祉協議会						
「まるみちゃん」						
福祉クイズ係						

ヒント

8ページをよくご覧ください。

しめきり 令和2年10月31日(土)(当日消印有効)

正解者の中から抽選で3名の方に図書カードとオリジナルクリアファイルを進呈いたします。

クイズ正解者の中から厳正な抽選の上、当選した方への賞品の発送をもって当選者の発表にかえさせていただきます。

※No.57の答えは「まんまのもり」でした。

★ご応募いただきました方の個人情報、福祉クイズ受付のみに使用し、他の目的に使用すること、第三者へ提供することはありません。



善意の寄付

三豊市社会福祉協議会では、皆さまからの善意のご寄付を、地域福祉・在宅福祉の推進などに有効活用させていただいております。本誌をもって改めて厚くお礼申し上げます。

寄付にご協力おねがいします

本会の財源の一つが、皆さまから寄せられる会費や寄付金です。こうした財源は地域福祉事業を行う上で大きな支えとなっています。

金額の多少を問わず、年間を通して本所・各支所で受け付けています。どうぞ温かいお気持ちをお寄せください。なお、本会への寄付は寄付金控除の対象となります。

令和2年6月～8月受付分 (順不同・敬称略)

三野町 松山 憲一
藤岡 隆雄
林 秀昭

豊中町 (故)矢野 文生

仁尾町 城中 春樹

団 体 詫間町 香川県建設労働組合三豊支部
仁尾町 香川県建設労働組合三豊支部

賛助会員 令和2年6月～8月受付分 (順不同・敬称略)

株式会社 フードテック

協同組合ビジネスネットワーク

株式会社 七宝

吉田石油店

ふじた動物病院

株式会社 モクラス

四国学院大学専門学校

有限会社 秋田石油店

本会の趣旨にご賛同いただき、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。お寄せいただいた会費は、市内全域の地域福祉活動の推進における貴重な財源として有効活用させていただきます。

【お詫びと訂正】

しちふくNo57の11ページ サロンへようこそ(四つ葉サークル)の記事におきまして、「年2回は日帰り研修旅行を実施しており」と表記しましたが、日帰り研修旅行の白峰寺及びちぬやの工場見学を企画実施しているのは、ボランティアグループ「なかよし会」さんです。サロン行事としての参加ではなく、個人で参加させて頂いており誤解を招くような表現になりましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。誠に申し訳ございませんでした。

- ★ いつから 平成12年4月
- ★ どこで 辻公民館(山本町)
- ★ い つ 月一回
- ★ だれが 65歳以上
- ★ 年会費 1,000円



▲ 赤のTシャツは辻元気会のトレードマークです

サロンへようこそ

元気でいきいきみんなの会(辻元気会)

「辻元気会」は今年で21年目になる歴史あるサロンです。

毎月一回、多彩な講師を招いての健康教室や講演会、幼稚園との交流、施設訪問、研修旅行など会員みんなが楽しめるよう工夫された内容で開催しています。

手芸の干支飾りは十二支を一巡したので、今年からまた違った内容の手芸が始まります。年末恒例のお正月の生け花はとても豪華で、みんな楽しみにして新年を迎えます。

ふたな荘や、優楽荘の訪問では銭太鼓を披露し拍手喝采です。「練習不足で間違っただけなのにですが、みんな笑って楽しんでくれます」と、会長さんは話されます。にぎやかな銭太鼓の音と、皆さんの笑顔が目に見え、皆様の笑顔が目に浮かぶよう、これから先も、「辻元気会」の活動を明るくいふれあいの場として、永く続けてほしいと思います。



～三豊市こどもの居場所づくり事業～

三豊市社会福祉協議会では、新たな取り組みとして、三豊市から「三豊市こどもの居場所づくり事業」を受託しました。三豊市内の「こどもの居場所づくり」に携わる団体の運営支援窓口を整備し、継続的な活動を支援すること、団体同士のつながりを構築することなどを目的としています。

主な取り組み内容

- ・こどもの居場所づくりに関わる団体への相談、支援活動
- ・ネットワーク会議の開催(研修会・交流会)
- ・こどもの居場所づくり活動に対する助成金交付



市内ですでに活動をされている運営者を対象に、今年度第1回目のネットワーク交流会を開催しました。西讃保健所より講師を招き、衛生管理について学習会も行いました。

第1回ネットワーク交流会の様子
(8月25日開催)



～令和2年度 三豊市こどもの居場所づくり活動助成金～

目的

「地域の中で、子どもが気軽に立ち寄ることができ、孤食を防ぐとともに様々な人々との関わりを通じて自分の居場所と感ずることができるような場をつくること」を目的にした活動に対して、助成金を交付します。

条件

- ① 子どもの積極的な参加への働きかけがあること
- ② 市内の子どもが誰でも利用できること
- ③ 1回あたり2時間以上、1月に1回以上開催すること
- ④ 実施主体が団体もしくは3名以上のグループであること
- ⑤ その他、助成要綱に沿った活動であること

助成額

助成金額の上限 月額1万円以内、年額12万円以内

申請

- ・助成金の要綱・申請書等については、三豊市社会福祉協議会本所・各支所へお問合せください。ホームページからもダウンロードできます。
- ・申込締切：令和3年2月末日まで
- ・助成総額に達した場合、申込期間中であっても募集を締め切ります。

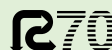


社会福祉法人 三豊市社会福祉協議会

〒768-0101 三豊市山本町辻333番地1 三豊市山本庁舎内 TEL0875-63-1014 FAX0875-63-3085 URL <http://www.mitoyoshakyo.or.jp>



目にやさしく読みやすいユニバーサルデザイン(UD)書体を使用しています。ユニバーサルデザインとは、年齢や性別、障害の有無に関係なくあらゆる人が快適に利用できるよう配慮されたデザインのことです。



この広報紙は、古紙配合率70%再生紙、また、環境に優しい植物油インクを使用しています。

令和2年10月1日発行